



# あつめぎたより

「あつめぎたより」は厚木市立病院から医療機関などのみなさまにがんに関するお知らせをするお便りです。

## 「がん相談支援センター」開設

当院の受診歴に関わらず、担当の相談員（MSW,看護師等）ががんに関する相談をお受けします。情報をお伝えしたり相談事を解決できるように支援させていただきます。他医療機関からのご相談もお受けしておりますので、従来の患者支援センターと同様にご連絡をお待ちしています。事前予約制となりますので、下記までご連絡ください。

患者支援センター内がん相談支援センター

担当：熊元 小高                      電話：046-221-1570（代表）



がん相談支援センターのスタッフ

## 「緩和ケア研修会」を開催しました

6/26（土）に当院で緩和ケア研修会（PEACEPROJECT）を開催しました。コロナ対策で院内関係者のみの参加となりましたが、参加者17名全員が修了しました。

来年度は地域の医療従事者のみなさまにもご参加いただく予定です。詳細は当院HPでご案内いたします。

## 9/1～緩和ケア地域連携パスの運用開始

在宅緩和ケア、緩和ケア病床のある病院と連携し、運用していきます。

## 当院における「神奈川医療連携手帳」

（がん地域連携クリティカルパス）の運用状況  
胃癌、大腸癌、肝癌、乳癌、肺癌のクリティカルパス運用を始めました。ご賛同いただける施設におきましては、患者さんの状況により連携パスの使用をお願いすることがあります。

## 「がんサロン・つくしんぼカフェ」始めました！

当院医療スタッフを中心に、がんサバイバーを対象としたがんサロンをOPENしました。「がんを抱えている患者さんがどのような悩みを持っているのか」をテーマに、コロナ禍で治療に向き合う患者さんご家族の悩みや思いを聞かせてもらうことができました。

次回は9/16開催予定ですが、コロナ感染の流行に応じて変更の可能性があります。随時当院HPでお知らせいたします。



## 創刊にあたって…

厚木の由来は、諸説ありますが、川沿いで木材の集散地であったことから「集め木（アツメギ）」がアツギになったといわれています。川に囲まれて発展していったということがわかります。緩和ケアチームを中心に力を集め、みなさまに当院のがんに関する情報をお届けしていきたいと思えます。

本誌に関するお問い合わせはこちらまでお願いいたします。→ 発行元：厚木市立病院緩和ケアチーム 渡部・小高